

令和 6 年度指定管理者管理運営状況評価結果について
(自然公園施設・都民の森)

東京都では、指定管理者制度を導入した公の施設の管理運営状況について、第三者の視点を含めた評価を実施しています。

このたび、令和 6 年度の評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 評価の目的

評価は、管理の履行状況、安全管理、法令遵守、サービスの利用状況といった観点から指定管理者の業務実施状況等を評価し、その結果を今後の施設管理運営に反映していくことで都民サービスの向上を図っていくことを目的としています。

2 評価の方法

指定管理者の年間を通じた施設の管理運営状況について、毎年度終了後、所管局による一次評価及び評価委員会（外部委員で構成）による二次評価を行い、これらの評価結果に基づき、環境局の最終評価として総合評価を決定します。

3 評価の概要

(1) 評価基準（4 段階）

総合評価	内容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B	管理運営が良好であった施設
C	管理運営に良好ではない点が認められた施設

評価の観点については別紙 1 のとおり。

(2) 評価委員会名及び委員構成

評価委員会	対象施設	委員構成
環境局指定管理者 評価委員会	東京都立奥多摩湖畔公園山の ふるさと村等 10 施設	外部委員 5 名(学識経験者等 5 名)

評価委員会委員の氏名については別紙 2 のとおり。

(3) 評価結果

	S	A	B	C	計
東京都立奥多摩湖畔公園山の ふるさと村等 10 施設	2 施設	4 施設	4 施設	—	10 施設

各施設の評価は別紙 3 のとおり。

【問合せ先】環境局自然環境部緑環境課自然公園担当
都庁内線 4 2 - 6 8 1
直 通 0 3 - 5 3 8 8 - 3 5 0 8

評価の視点

項 目		内 容
管理状況	適切な管理 の履行	○ 協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか ・ 維持管理及び案内等に関する取組が適切に行われているか ・ 人員配置やワークライフバランスへの配慮等への取組が適切かなど
	安全性の 確保	○ 施設の安全性は確保されているか ・ 自然災害等に備え、避難訓練等を実施しているか ・ 自然災害等の発生時に、的確で速やかな対応がなされているかなど
	法令等の 遵守	○ 個人情報保護、報告等は適切に行われているか ・ 個人情報保護・情報公開の取組は適正に行われているか ・ 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等が発生していないか ・ 事故等が起きた際の対応や都への報告は適正になされているかなど
	適切な財務 ・ 財産管理	○ 適切な財務運営・財産管理が行われているか ・ 経理の明確な区分など、経理処理が適切になされているか ・ 都有財産（物品など）が適切に管理されているかなど
事業効果	利用の状況	○ 事業計画どおりの利用状況となっているか ・ 利用者数（環境の変化など外部要因を考慮）は増加しているか ・ 利用者要望・苦情等の把握、共有は適正に行われているか ・ アンケート回収枚数向上の取組がなされているか ・ 利用者要望等に対し、適切な対応がなされているかなど
	サービス 内容等の 向上等	○ 事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか ・ 施設の特性及び利用者ニーズに応じたイベントを積極的に実施しているか ・ 利用者の高い満足度が得られているか ・ オフシーズンの利用促進に向け、積極的な取組がなされているか ・ 施設の広報に関する取組が効率的・効果的になされているか ・ 地域連携や地域振興等への取組が実施されているか ・ 業務の効率化に向けた取組が実施されているか ・ 従業員の人材育成のための取組が積極的に実施されているかなど

評価委員会委員名簿

評価委員会名	委員氏名	役職名
環境局指定管理者 評価委員会	坂井 雪	観光まちづくりアドバイザー
	鳥居 敏男	一般財団法人自然公園財団専務理事
	町田 怜子	東京農業大学地域環境科学部教授
	守泉 誠	公認会計士
	山本 清龍	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授

令和 6 年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村	奥多摩町	奥多摩町	5 年 (令和 6 年度～ 令和 10 年度)	B	・ 日常清掃、施設の修繕や更新等の積極的な取組は評価できる。 ・ 奥多摩地域の歴史文化や周辺施設などと連携を図り、利用者への満足度向上に効果的に繋げている。 ・ クマ遭遇による事故を防止するための情報提供等の継続に期待する。
東京都奥多摩ビジターセンター	奥多摩町	株式会社 自然教育研究センター	5 年 (令和 2 年度～ 令和 6 年度)	A	・ 施設の案内や館内展示について、来館者の興味に繋がる工夫を凝らしている。 ・ 登山者のニーズが高い講座の開催や、自然教室講座の実施は、参加者多く効果的であり優れたサービスを提供できている。 ・ 回収率が増加したアンケートについて、意見の分析や対応の深度化が必要であると考える。
東京都御岳ビジターセンター	青梅市	株式会社 自然教育研究センター	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	A	・ 施設管理は概ね計画通りに適切に実施されている。 ・ 山岳救助隊等との合同による登山道の巡視や専門技術者を講師とした社員研修により能力向上に努めている。 ・ アンケート回収率の向上や、来訪者のニーズを把握しサービス向上に繋げている。 ・ 周辺地域の利点を活かした効果的な取組について、利用者の増加に繋がる継続した取組に期待する。
東京都御岳 インフォメーションセンター	青梅市	一般社団法人 青梅市観光協会	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	B	・ 施設管理は概ね計画通りである。 ・ 地域の特産品、登山者向け商品、オリジナル商品の売上増は評価できる。 ・ 駅前立地の特性を活かした施設運営について引き続きの検討を期待する。
東京都高尾ビジターセンター	八王子市	株式会社 自然教育研究センター	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	A	・ 施設清掃の徹底、日々の巡視等による現場状況の把握は、徹底した安全管理に繋がっている。 ・ 多くの利用者に対応したリスク管理について、登山者の事故だけでなく生態系への影響等も考慮し取り組んでいる点は評価できる。 ・ オリジナル商品の開発に取り組み、全体の販売数も増加が見られる。 ・ 利用の集中による弊害緩和についての検討等について期待する。

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立小峰公園	あきる野市	公益財団法人 東京都公園協会	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	A	・樹木点検等のきめ細かい安全管理の取組や、地元警察との連携による安全登山への普及啓発に努めている。 ・積極的な SNS による発信や、長期に渡り取り組んでいるニュースレターの配布等は評価できる。 ・地元自治体と連携し地域振興にも繋がる里山づくりの取組や、満足度の高い里山体験は効果的な取組である。 ・里山管理において一年のサイクルを意識した運営や、連続したプログラムの検討に期待する。
東京都立多幸湾公園	神津島村	神津島村	5 年 (令和 6 年度～ 令和 10 年度)	B	・施設の破損箇所等の速やかな補修等、適切に行われている。 ・島文化の継承や島民対象プログラムの実施による地元連携の取組は評価できる。 ・キャッシュレス決済、オリジナル商品販売などは利用者に好評であり評価できる。 ・島ならではのプログラム等に取り組み、島外利用者の積極的な誘致に繋げることを期待する。
東京都小笠原ビジターセンター	小笠原村	公益財団法人 東京都公園協会	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	S	・施設管理はおおむね計画に沿って適切に行われており、利用者要望を受けた機器の設置等による利便性の向上が見られた。 ・多くのイベント等が定着し安定的に取り組まれており、特に生態系保護に加え楽しく学べるイベントの実施は、意義や効果のある取組であり、高く評価できる。 ・内地の民間施設等との積極的な連携による情報発信や、データ化した展示内容の H P 公開などは、島外の来訪者の誘致に繋がる効果的な取組であった。 ・島内外の来訪者及び多種多様なプログラムへの参加者の増加が顕著であった。 ・島内の自然体験・学習の機会を提供している団体との連携は、相乗効果が期待できるので取組の継続を期待している。
東京都奥多摩都民の森	奥多摩町	奥多摩町	5 年 (令和 6 年度～ 令和 10 年度)	B	・職員の技能資格取得支援や安全教育の徹底等による安全安心な施設管理への取組は評価できる。 ・林業や登山などのプログラムの実施において、有資格者や地元で携わる方を講師として採用しており、質の高い講義や現地での体験活動に繋げている。 ・平日の宿泊利用や立地を活かした施設運営等の工夫に期待する。
東京都檜原都民の森	檜原村	檜原村	5 年 (令和 6 年度～ 令和 10 年度)	S	・安心安全な公園利用に向けた施設の維持管理に迅速に対応するとともに、経費の節減に積極的に努めている点は高く評価できる。 ・地元施設との合同イベントの取組など、地域との連携強化に繋がり、効果的な取組である。 ・閑散期のバス運行や、電気自動車の無料送迎等の利用サービスは利用者の視点に立った積極的な取組である。 ・多様な森林体験プログラムは利用者にも好評であり、アンケートの回収増加にも繋がっている。 ・山岳歩道の維持管理等は、全国的に課題であると考えられるため、当該施設での取組が先行事例となるよう期待する。